

第32回関西けん玉道選手権大会 実施要項

●日時 2018年12月9日(日) 開場9時30分、受付9時45分～10時15分 開会10時15分

●場所 都島区民センター 大阪市都島区中野町2丁目16-25

●アクセス 地下鉄長堀鶴見緑地線、JR環状線「京橋」下車 徒歩10分
 JR環状線「桜ノ宮」・東西線「大阪城北詰」下車 徒歩10分
 地下鉄谷町線「都島」下車 徒歩15分

●主催 日本けん玉協会 関西ブロック

●参加費 幼児・小学 300円 中学・高校 500円 大学・一般 1,000円

●競技部門

(1) 個人の部 ①10級～5級の部 ②4級～準初段の部 ③初段～4段の部 ④5段以上の部

(2) 団体の部

☆多個人の部、団体の部ともに、昨年と技およびルールに変更はありません

●大会選技

(1) 個人の部

級の部

①10級～5級の部	②4級～準初段の部
1、(手のせ大皿～)大皿ジャンプ	1、飛行機
2、大皿	2、県一周
3、小皿	3、日本一周
4、中皿	4、ヨーロッパ一周
5、ろうそく	5、世界一周
6、(ろうそく～)ろうそくジャンプ	6、灯台
7、とめけん	7、ふりけん
8、(とめけん～)竹とんぼ	8、手のせけん先すべり
9、ひこうき	9、空中ブランコ
10、手のせ大皿～けん	10、手のせうぐいす～けん

段の部

③初段～4段の部	
予選	決勝
1、うぐいす	1、宇宙一周
2、うらふりけん	2、一回転灯台
3、つるしとめけん	3、一回転飛行機
4、さか落とし	4、ふりけん～はねけん
5、地球まわし	5、灯台～けん
6、宇宙一周	6、つるしとめけん～地球まわし
7、一回転灯台	7、前ふりうぐいす～回転けん
8、一回転飛行機	8、小皿金魚すくい
9、ふりけん～はねけん	9、つるし灯台～さか落とし
10、灯台～けん	10、飛行機～はやて中皿～玉つきさし

【タイム競技 M2015】

とめけん → ヨーロッパ一周 → 地球まわし → うぐいす～けん → はねけん
→ 一回転飛行機 → さか落とし

④5 段以上の部
1、二回転飛行機～一回転灯立
2、二回転灯台～一回転さか落とし
3、円月殺法～一回転灯台
4、ふりけん～フリップ地球まわし
5、宇宙遊泳一回転とめけん
6、月面着陸とんぼ返り
7、中皿金魚すくい～けん
8、極意渡り
9、稲妻落とし
10、回転すくいけん

【タイム競技全日本 2015】

ろうそく返し→前ふりうぐいす～回転けん→ヨーロッパ一周～地球まわし
→円月殺法→宇宙遊泳→つるし一回転灯台～さか落とし

(2) 団体の部

	団体の部 選技
1	大皿送り
2	ろうそく送り
3	世界はひとつ
4	野球けん1・2・3 (いち・に・さん)
5	一発ホームラン

1、大皿送り (3人協力技)

- 1 ②が玉を引き上げ、①の大皿に乗せる。
- 2 ①の大皿に乗っている玉を、②の大皿に乗せる。
- 3 ②の大皿に乗っている玉を、③の大皿に乗せる。

2、ろうそく送り (3人協力技)

技がろうそくに変わる。大皿送りと玉を送る順番は同じ。

3、世界はひとつ (3人協力技)

- 1 ②が玉を引き上げ、①の小皿に乗せる。
- 2 ①の小皿に乗っている玉を、③の大皿に乗せる。
- 3 ③の大皿に乗っている玉を、②の中皿に乗せる。
- 4 ②が自分の中皿に乗っている玉を、自分のけんにさす。

4、野球けん1・2・3 (いち・に・さん) (個人技)

大皿をしたあと、中皿のふちあたりに玉を当て、玉を一回下に落とした後、各皿にのせる。

- ①、②、③が野球けんのヒット (大皿→大皿) とツーベース (大皿→中皿) とスリーベース (大皿→小皿) を分担して、試技する。だれがどの技をしてもよいが、必ずチームでひとつずつ分担する。全員成功させた時のみ「成功」とする。

5、一発ホームラン（個人技）

①、②、③が野球けんホームランを試技する。1人でも成功した場合「成功」とする。1人成功、2人成功、3人成功に差はなく、どれも「成功」とする。

【団体戦タイム競技】

1本のけん玉を使用し、とめけん→ひこうき→世界一周の順で成功させる。順番は①→②→③の順番で行う。始める前に並ぶ順番を入れ替わっても良い。

●競技方法

（1）個人の部

《予選》

- ・4部門（①～④）とも1選技3回ずつの得点制（30点満点）にて予選を行う。
- ・同点の時は、各技の1回目の成功回数の多い方が上位とする。
なおも同点の時は、2回目の成功回数の多い方が上位とする。
すべて同点の時は、
①と②の部は、1～10の選技を順に1回ずつ行うサドンデス方式で順位を決める。
サドンデス方式は一巡を限度とし、それでも決着がつかなかった場合は、タイム競技で決着をつける。タイム競技の種目は審判団よりその時に示される。
- ③の部は「タイム競技 M2015」、④の部は「タイム競技全日本 2015」で決着をつける。
- ・各部の予選上位8名が、【決勝トーナメント】へ進出する。ただし、各部の出場者が30名以上の場合は上位16名とする。

《決勝トーナメント》

- ・予選通過者による決勝トーナメント戦。
- ・対戦の組み合わせは、予選通過者全員による抽選で決定する。
- ・選技はくじにて行う。ただし、①の部は5～10番の6種目とする。また、③の部は予選と技が変わる（選技表を確認のこと）。
- ・試合の試技は4選技（決勝戦のみ6選技）を限度とする。
- ・2本先取（決勝は3本）勝ちとする。
- ・勝敗が決まらない場合は、4選技（決勝戦のみ6選技）終了した時点で得点の多い選手の勝ちとする。
- ・4選技（決勝戦のみ6選技）終了した時点で同点の場合、
①と②の部は、1～10の選技を順に1回ずつ行うサドンデス方式。
一巡を限度とし、それでも決着がつかなかった場合は、タイム競技で決着をつける。
タイム競技の種目は審判団よりその時に示される。
- ③の部は「タイム競技 M2015」、④の部は「タイム競技全日本 2015」
- ・主審の「はじめ」の合図から15秒以内で技を開始し、40秒以内に終了させること。タイムオーバーは失敗とする。

（2）団体の部

- ・3人で構成されたチーム対抗の「2本勝負」トーナメント戦。
※チームを構成するメンバーは、参加者全員の抽選で決定する。
※同じクラスの偏りをなくすため、クラス別に並び変えた後、抽選のくじ引きをする。
- ・対戦の組み合わせは、チームの代表者による抽選で決定する。

○共通の条件

- ・ 3人は横一列に並び、審判や相手チームに技が見えるように試技しなければならない。
- ・ 審判に近い方から、選手の番号を①、②、③とする。
- ・ 試技中は、動いて①、②、③の並びを変えてはならない。
- ・ 技ごとに①、②、③は入れ替わってもよい。ただし、1回目から2回目の試技では入れ替わってはならない。

《2本勝負》

- ・ 先攻、後攻は対戦チームによるジャンケンで決定する。
- ・ 選技はくじにて行う。
- ・ 試技はチームごとに交互に行い、一方のチームが成功し、他方のチームが失敗した場合、成功したチームの1本（勝ち）とする。
- ・ 1選技は2回制とし、両チーム2回ずつ試技しても勝敗が決まらない場合は、その種目は引き分けとする。
- ・ 2選技終了時点で、取った本数の多いチームの勝ちとし、同点の場合は、団体戦タイム競技で勝敗を決める。
- ・ 主審の「はじめ」の合図から15秒以内に試技を開始し、40秒以内に終了させること。タイムオーバーは失敗とする

《団体戦タイム競技》

- ・ 1本のけん玉をバトン代わりに、1～3の3つの技を順に3人でリレーして、早く終了させたチームの勝ちとする。
- ・ 誰が何番目の技をするかはチーム内で決めるものとする。

●使用けん玉

- ・ 日本けん玉協会公認16型けん玉を使用すること。
- ・ 玉は、協会指定の塗装がしてあるものに限る。
- ・ けん玉の損傷が著しいものや故意に着色したものは使用できない。
- ・ 当日の検査に合格したけん玉のみ使用を認める。

●表彰

- ・ 個人の部の各部門とも、優勝、準優勝、第3位には賞状とメダルが、ベスト8には賞状（優秀賞）が贈られる。
- ・ 団体の部の優勝チームには、各人に賞状とメダルが贈られる。準優勝、第3位には各人にメダルが贈られる。

●その他

- ・ 級、段位の不正申告をした場合は、出場を取り消すものとする。
- ・ 筆記用具を持参すること。
- ・ 参加者のけがについて、関西ブロックとしては一切責任を負わないものとする。

●参加申し込み

- ・ 当日申し込みのみとなります。
- ・ 参加者は申込用紙に必要事項を記入してご持参下さい。
- ・ 参加費は、当日徴収させていただきます。

●問い合わせ、連絡先

日本けん玉協会関西ブロック 事務局

090-9984-1309（中田） 080-1446-1668（工藤）

- ・ 会場への直接の問い合わせはご遠慮下さい。